

原子力安全問題ゼミ 全112回リスト

No	開催日	講演者	テーマ	ビデオ
1	1980.6.4	小出裕章	原子力における確率論的安全評価の意味ーその1	
2	1980.6.19	小出裕章	原子力における確率論的安全評価の意味ーその2	
3	1980.7.18	瀬尾健	原子炉の重大事故時に於ける災害評価：想定不適當事故	
4	1980.9.25	海老沢徹	工学的安全施設の問題点	
5	1980.12.11	小林圭二	微量放射線の影響に関する最近の論争：マンクローズ論文に寄せて	
6	1981.3.17	川野真治	原発における事故、故障	
7	1981.7.15	今中哲二	原子力発電のエネルギー分析：原発は石油を食って電気を生む	
8	1981.9.30	小出裕章	敦賀原発環境汚染事故の実態：施設内マンホール中の放射能測定結果も含めて	
9	1982.5.20	海老沢徹	最近のECCS問題：TMI、Ginna 事故によって示された原発の欠陥	
10	1982.7.7	今中哲二	原爆線量の再評価について	
11	1982.10.28	小林圭二	高速増殖炉（もんじゅ）の安全解析についてーその1	
12	1982.12.28	小林圭二	高速増殖炉（もんじゅ）の安全解析についてーその2	
13	1983.2.23	川野真治	蒸気発生器細管破損事故と原発の安全問題：Ginna 原発蒸気発生器大破損事故	
14	1983.6.20	宇治田一也 (和歌山市)	電力需給構造の激変と原子力発電：原子力“安楽死”の条件整のう	
15	1983.9.14	小出裕章	ICRP勧告の変遷とその意味：ICRPPublication26 を中心にして	
16	1983.12.7	海老沢徹	最近の原発安全問題の話題：圧力容器脆性破壊の可能性とスクラム失敗事故①	
17	1984.1.25	海老沢徹	最近の原発安全問題の話題：圧力容器脆性破壊の可能性とスクラム失敗事故②	
18	1984.5.15	川野真治	今、なぜエントロピーカーエントロピー論への招待	
19	1984.7.3	久米三四郎 (阪大)	TMI-2 事故における放射性ヨウ素の放出量：瀬尾、岡本論争への提言	
20	1984.10.17	瀬尾健	未だに解明されていないTMI 原発事故による放射能放出量：TMI 研究会（フィラデルフィア）に向けて	
21	1985.4.26	海老沢徹 今中哲二 小出裕章	伊方原発判決に見る原発の危険性	
22	1986. 2.27	今中哲二	低線量放射線の発ガンリスク：ICRPリスク係数の根拠について	
23	1986.4.25	今中哲二	低線量放射線の発ガンリスク：ICRPのリスク係数を批判する	
24	1986.8.4	小出裕章 瀬尾健 今中哲二	チェルノブイリ原発事故	
25	1986.10.30	小出裕章	ウィーン反原発国際会議の報告	
26	1986.12.19	瀬尾健 今中哲二	チェルノブイリ原発事故にともなう放射能放出量の推定とソ連・ヨーロッパ地域における発ガン影響の評価	
27	1987.1.17	小林圭二	原子炉の動特性と暴走事故	
28	1987.4.17	海老沢徹	高速増殖炉問題とフランスの原子力事情	
29	1987.12.10	海老沢徹 瀬尾健	超高感度中性子モニターHISENS	
30	1988.1.26	小林圭二	原発負荷追従運転の問題点	
31	1988.6.27	今中哲二 小出裕章	チェルノブイリ事故と食品汚染	
32	1988.12.12	小出裕章	人形峠におけるウラン鉱山労働者の被曝と環境汚染問題	
33	1989.8.31	海老沢徹	圧力容器の脆性破壊	
34	1989.11.9	川野真治	PWRにおける蒸気発生器（SG）細管損傷	

35	1989.12.14	正脇謙次 (京大)	蒸気発生器の金属学—粒界腐食	
36	1990.7.4	小出裕章	確率論的安全評価の現在：NUREG-1150 を中心にして	
37	1990.10.11	瀬尾健 今中哲二	チェルノブイリ事故調査報告：ミンスク、キエフ、モスクワ紀行	
38	1990.12.6	川野真治	デンマークエネルギー事情	
39	1991.3.27	荻野晃也 (京大)	ピースボートによる世界一周環境調査	
40	1991.5.31	佐々木宏 (高知大) 海老沢徹	H I S E N S による乗鞍中性子シャワー測定の意味	
41	1991.11.14	石田紀郎 (京大)	カザフの環境破壊—アラル海とセミパラチンスクを訪ねて	
42	1991.12.25	小林圭二	高速増殖炉“もんじゅ”どこが危険？なにが問題？	
43	1992.3.2	小村浩夫 (静岡大)	沸騰水型軽水炉の出力振動問題	
44	1992.6.24	小林圭二 海老沢徹 正脇謙次 小出裕章	美浜2号炉事故を究明する (概要) " (ECCS) " (細管破断原因) " (放出放射能)	
45	1992.8.13	E.F.Konoplya (Belarus)	Present Status of the Consequences of the Chernobyl Accident	
46	1992.12.10	小出裕章 荻野晃也	APWRの特徴とその問題点 ABWRの特徴とその問題点	
47	1993.2.18	小池健一 (信州大)	チェルノブイリ原発事故による周辺住民の被曝影響現地調査より—血液学的・免疫学的所見をめぐって	
48	1993.4.28	山本定明 (元名古屋大)	原子力防災の問題点	
49	1993.6.2	荻野晃也	台湾のマンション壁放射能汚染問題	
50	1993.7.12	R.D.Pollard (USA)	The Problem of Aged Nuclear Power Plants in America	
51	1993.9.2	今中哲二	チェルノブイリは今—ベラルーシから帰国して	
52	1993.11.4	小林圭二	英国高速増殖炉PFRの蒸気発生器細管ギロチン破断事故の教訓	
53	1993.12.16	海老沢徹	核融合の現状と問題点 (仮題)	
54	1994.2.3	槌田敦 (名城大学)	日本における核兵器開発の可能性と問題点について	
55	1994.5.18	B.Martin (Australia)	Nuclear Power Problem in Australia	
56	1994.5.30	V.P.Matsko Y.V.Dubina (Belarus)	Recent Investigations in Belarus about the Consequences of the Chernobyl Monitoring Activities in Belarus just after the Chernobyl Accident	
57	1994.8.2	S.Beder (Australia)	Environment problem in Australia	
58	1994.10.26	R. Kollert (Germany)	ヨーロッパにおける高速炉安全論争	○
59	1994.12.14	荻野晃也	電磁波による身体影響について	○
60	1995.3.23	永美大志 (奈良衛研)	農薬の残留問題と有機農業	○
61	1995.4.28	今中哲二	チェルノブイリ原発事故から9年：これ迄のまとめと今後の課題	○
62	1995.8.31	川野真治	蒸気発生器の老朽化問題	●
63	1995.12.24	小林圭二	もんじゅ事故	●
64	1996.6.21	久米三四郎 正脇謙次 山内知也 (神戸商船大)	もんじゅ事故調査検討委員会報告会	●

		小出裕章 宮内泰介 (福井大)		
65	1996.7.22	O.Nasvit (Ukraine)	Radioactive Contamination of Aquatic Ecosystems in Ukraine after the Chernobyl Accident	●
66	1996.12.18	小林圭二	高速増殖炉の炉心崩壊事故	○
67	1997.5.9	古川路明 (名古屋大)	放射能を測って44年	○
68	1997.8.29	海老沢徹 今中哲二 小出裕章	SEO 原発事故災害評価プログラムの講義と実習	○
69	1997.12.26	久米三四郎	もんじゅの安全性総点検	●
70	1998.5.13	海老沢徹	原発の老朽化問題と最近の安全問題	●
71	1998.10.6	淡川典子 (富山大)	原発をめぐる法的諸問題	●
72	1998.12.22	槌田敦	炭酸ガスによる地球温暖化説を検討する	●
73	1999.2.17	中地重晴 (環境監視研)	産廃処分場の現状から原発解体廃棄物による環境汚染問題を考える	●
74	1999.4.19	今中哲二	チェルノブイリ事故から13年：共同研究のまとめとこれから	●
			<軽水炉寿命延長問題について>	
75	1999.7.7	上澤千尋 (原子力 資料情報室) 正脇謙次 海老沢徹	原発の老朽化と寿命延長 原発の長期運転に伴う材料劣化の危険性 寿命延長と安全問題	●
			<JCO東海の臨界事故について>	
76	1999.11.1	小林圭二 今中哲二 小出裕章	事故の概要 中性子線量と発生出力 被曝と放射能汚染問題(pdf) (html)	○
			<今年の原子力安全問題>	
77	1999.12.27	久米三四郎 正脇謙二 山本定明 上澤千尋・澤井正 子 (資料情報室) 山内知也	1.原電敦賀2号炉事故 ・事故の概要 ・再生熱交換機破損の問題点 2. JCO臨界事故 ・防災に関する問題提起 ・事故調査委員会 3.MOX 燃料データねつ造問題	●
78	2000.5.19	小泉好延 (東大)	技術の深層	●
			<ウラン、トリウムなど天然放射能による被曝>	
79	2000.9.27	小出裕章 土井淑平 末田一秀 (自治労) 北就一 海老沢徹	1 人形峠ウラン鉱山などの汚染と課題 2 東郷町方面地区のウラン残土撤去運動 3 堺臨海処分場のチタン汚泥 4 堺におけるチタン汚泥問題 5 神戸市北区富士チタン工場に関連する酸化チタン産廃	●
80	2000.12.12	古川路明 今中哲二	<JCO事故の総括的検討> 1 JCO臨界事故とその背景にあるもの 2 漏洩中性子の輸送計算	●
81	2001.3.16	小出裕章 小村浩夫	<激動の台湾原発事情> 1 原子力発電所の安全評価と台湾への適用 2 台湾の原子力開発、過去、現在、未来	●
82	2001.6.1	尾崎充彦 (元大阪大学)	核燃料輸送—そこから見えること—	●
			<地震と原発>	
83	2001.8.9	石橋克彦 (神戸大)	1 日本の原発は地震に安全か?	●

		釜江克宏 (京大炉)	2 強震動予測の現状と今後の課題	
84	2001.10.23	石田博 (風力エネルギー 協会)	風力発電の現状と問題点	●
85	2001.12.22	藤村陽 (高木学校)	高レベル廃棄物の地層処分	●
86	2002.2.4	Tykhyy V. (Ukraine)	Current Situation of Industrial Activities and Related Environmental Problems in Ukraine	●
87	2002.4.30	1. 大東断 (環境データ) 2. 正脇謙次 3. 海老澤徹 4. 安藤多恵子 (市民エネ研)	<浜岡1号炉事故> 1 浜岡1号炉事故の概要 2 浜岡1号炉の配管破断事故の報告書を読んで 3 浜岡1号機配管破断事故における原子炉の安全問題 4 Brunsbüttel 原発の水素爆発による配管破断事故について	●
88	2002.7.5	海老澤徹	中性子と原子力	●
89	2002.10.11	藤野聡 (資料情報室)	JCO 臨界事故：3年後に見えてきたもの	●
90	2002.12.16	藤田一良 (藤田法律事務所)	伊方反原発裁判はじまりの頃	●
91	2003.2.25	Malko M. (Belarus)	Assessment of Chernobyl Cancer in Belarus	●
92	2003.3.20	久米三四郎	もんじゅ控訴審勝利の背景	●
93	2003.5.16	小林圭二 荻野晃也	原子力から始まって反原発に至る 退職後に考える45年間の出来事	●
94	2003.8.26	小出裕章	ウランを利用することで生じる被曝	●
95	2003.12.12	石橋克彦 正脇謙次 荻野晃也	<原発震災> 地震学からみた日本の原子力発電所の耐震安全性 原発の耐震設計技術指針と地震波 安全審査における地震問題：伊方訴訟の経験から	●
96	2004.3.17	古川路明 平野良一 小出裕章	日本の再処理は何処へ行く 内包されている六ヶ所再処理の危険性について考える	●
97	2004.6.9	朴勝俊 (京産大)	原子力発電所の災害評価原発事故被害額の試算	○
98	2004.10.7	小出裕章 久米三四郎 海老澤徹 正脇謙二 小山英之 (美浜の会)	<美浜3号機復水配管破断事故> 1.事故経過とその全体像 ・全体的コメント 2. 熱水力学条件の推移とプラントパラメータの変化：もうひとつのシナリオ 3. 減肉現象とは何か・材料学からのコメント 4. 原発管理指針を考える-避けられなかった配管破断	●
99	2004.12.15	山内知也 今中哲二 桜井醇児	1.ECRR 報告における新しい低線量被曝評価の考え方 2. 低線量被曝リスク評価に関する話題紹介と問題整理 3. フランス下請け労働者の被曝リスク計算例	●
100	2005.3.22	小林圭二	高速増殖炉「もんじゅ」-過去・現在・未来-	○
101	2005.6.10	川野眞治 正脇謙二	中性子とともに36年：市民と「アカデミズム」のはざままで 原発の重大事故を顧みて	○
102	2006.4.14	今中哲二 Y.シチェルバク V.ティーヒー	<チェルノブイリ事故20年> 1.事故の概要 2.チェルノブイリ：科学技術文明への警告 3.被災者の現状とその社会的問題	●
103	2007.5.11		<BWR 臨界事故と能登地震>	●

		小林圭二	1.BWR 臨界事故と日本の原子力安全文化	
		岩淵正明 (弁護士)	2.志賀原発裁判と地震問題	
		芦原康江 (島根原発増設反対運動)	3.島根原発と断層問題	
104	2007.6.28	M.Tondel (スウェーデン)	Malignancies in Sweden after the Chernobyl Accident in 1986	●
			<中越地震と原発耐震設計>	
105	2008.7.22	小出裕章 正脇謙次 荻野晃也	1.柏崎刈羽原発とその地震被害の概要 2.中越沖地震が明らかにした原発耐震設計の問題点 3.コメント：伊方原発訴訟と地震問題	●
			<医療被ばくのリスク>	
106	2009.3.6	今中哲二 崎山比佐子 (高木学校) 木村真三 (労働安全衛生研) 渡辺美紀子 (資料情報室)	1.低レベル被ばく影響に関する最近の報告より 2.医療被ばくのリスク 3.コメント1：医療従事者の被ばく 4.コメント2：原発労働者の被ばく	●
			<ナロジチ再生・菜の花プロジェクト>	
107	2009.8.7	戸村京子 (チェルノブイリ 救援・中部) M,ディードフ (ウクライナ)	1.菜の花プロジェクトの経緯と概要 2.The Consequences of Chernobyl Accident in the Agriculture of Zhytomyr region and counter-measures against them	●
			<地球温暖化と二酸化炭素>	
108	2009.10.26	小出裕章 渡辺宏 (環境研)	1. 気候変動に関する政府間パネル (IPCC) 報告と温暖化二酸化炭素説の問題点 2. 地球温暖化はどこまで二酸化炭素で説明できるか?	○
			<広島・長崎 65 年 被爆体験を聴く>	
109	2010.4.269	葉佐井博巳 (元広島大) 沢田昭二 (元名古屋大)	1.65年前を振り返る 2.被爆者として、そして科学者として	●
			1.福島原発事故の現状について 2.スリーマイル島原発2号炉事故の概要 3.チェルノブイリ原発事故の概要 4. 原爆開発と原子力利用がもたらしたウクライナへの天罰 5.チェルノブイリ原発職員へのインタビューより 6.プリピャチ市避難住民へのインタビューより 7.科研費研究によるチェルノブイリ汚染地域ナロジチ地区での住人健康調査 8.チェルノブイリ裁判記録を翻訳して	●
110	2011.3.18	小出裕章 海老澤徹 今中哲二 V.ティーヒー 七沢潔 (NHK 放文研) 川野徳幸 (広島大) 木村真三 平野進一郎 (チェルノブイリ 子ども基金)		
111	2015.2.27	川野眞治 小出裕章	伊方原発訴訟の頃 原子力廃絶への道程	●
			<チェルノブイリ 30 年、福島 5 年>	
112	2016.2.10	V.ティーヒー 今中哲二	1. Chernobyl, its role during 30 years and present (チェルノブイリ：この30年間そして現在における意味) 2. 福島原発事故から5年	

注1. ●：ゼミのビデオ有り。○：ビデオは撮影されたが今中の手元がないもの。(撮影者の石田博さんは2014年12月逝去。)
注2. グレーの回はレジュメなし。